

行方同盟二十内合計百円を各人の私財より貯蓄す
 小沢等四名との興へしルニ幸蒙同盟八名は協議一決果海陽里取
 ナシ承諾ス

倉社側 社長 江波戸常吉

取締役 早水美之助

船夫組合代表 新井吾太郎

船夫 船務六次

〃 〃 岡見鶴一

〃 〃 木村倉吉

〃 〃 吉田政吉

〃 〃 山口賢太郎

調停者 岡野寅彦

等倉社格上ニ於テ今見別記ノ條件ヲ以テ二十日午後八時同盟解決ニ
 向テ議團解散致ハ二十一日午後七時舉行セリ
 中(通)船便也

(別記)

解決條件(要書寫)

一 解運賃ハ他日両者協定スル事

二 補充貸制度ハ左ノ如ク制定ス

大船 五隻 全三四四也

中船 五隻 全三四四也

小船 三隻 全三二四也 (字数下レニノ)

揚子舟 一隻 全三二四也 (字数下レニノ)

〃 二隻 全三三四也

指受人姓名別ハ別紙明細書ヨリ提出ス

三 補充貸ニ對スレ下リノ條件ハ撤廢ス

五 通リ協定ス

昭和六年六月六日

船務同盟株式會社

取締役社長

取締役

船夫組合代表

江波戸常吉
 早水美之助
 新井吾太郎
 船務六次